

地域人材活用と文化振興

新生クラブ 工藤 恵美

〔質問〕市内に在住する多くの優れた芸術家等の地域人材を子供たちの教育に有効活用し、新たな文化振興として取り組む考えはないか。

〔答弁〕市内の芸術家が学校等に出向いて文化芸術の普及活動を行う、いわゆるアウトリーチ事業は、子供たちへの優れた芸術鑑賞機会の提供だけではなく、人材育成や指導者の養成、市民活動の場の拡充など地域の文化芸術活動の一層の振興となるため、来年度からの実施に向け検討しているところである。(教育長)

議員の依頼に対する市の対応

市民クラブ 小野沢 猛史

〔質問〕金品のやりとりを伴う議員からの依頼に対しては、市役所全体として毅然と拒否すべきと思うが、市長の認識を伺いたい。

〔答弁〕職員個人に対する様々な紹介や購入依頼等については、あくまでも職員個人がその必要性を判断すべきであり、職務上、必要と考えられるものがあれば、組織として対応すべきものと考えている。いづれにしても、職員個人だけではなく、組織としてもきちんとした対応をすべきものと認識している。(市長)

人工内耳装着者への支援

日本共産党 市戸 ゆたか

〔質問〕聴覚障がいにより人工内耳を装着している方が市内に11名いるとのことだが、市として予備の人工内耳の体外機や電池等の助成を検討できないか。

〔答弁〕補聴器等の補装用具を支給する場合、各品目1つという原則があり、人工内耳の体外機も同様である。予備として所有する2台目の機器に対する助成は、実施都市もあるがなかなか難しい面もあり調査研究していきたい。電池交換にかかわる助成については検討したい。(福祉部長)

行財政改革の取り組み状況

民主・市民ネット 道畑 克雄

〔質問〕行財政改革新5か年計画について、現在の行財政効果額や取り組みの内容について伺いたい。

〔答弁〕行財政改革新5か年計画の平成21年度までの実績は、職員数の削減や経常経費の縮減などにより、行政効果額は47億円と当初計画を上回っている。また、都市経営会議の設置などの新たな行政経営システムづくりやキャリア開発制度などによる職員の能力開発等にも取り組んでおり、今後においても計画の着実な推進に努めたい。(市長)

市営住宅入居者の銭湯利用

日本共産党 紺谷 克孝

〔質問〕「五稜郭市営住宅にお風呂を作る会」が実施したアンケート調査の風呂の設置を求める声に対してどのように考えているのか。

〔答弁〕市営住宅の3分の1程度が風呂のない状態であり、うち2団地が廃業等により、1キロ以内に銭湯がない状態である。他都市では同様の状況で、団地内に共同浴場をつくる、送迎バスを運行するなど試みられており、それらを参考にシミュレーションをしながら手立てを検討しているところである。(都市建設部長)

中途採用看護師の退職状況

民主・市民ネット 石井 満

〔質問〕新卒採用看護師の退職割合が約8%であるのに対し、中途採用看護師の退職割合が約16%と高いことに対する見解をお尋ねしたい。

〔答弁〕退職される看護師には、それぞれ事情があると考え、特に経験を積んだ看護師は、自分の仕事パターンを持っており、それが市立函館病院の勤務体制に合わなければやはり辞めていく。辞めないようにするための教育・研修制度をさらに強化しながら、退職者を少なくする努力をしていきたい。(病院局長)

交通料金助成制度の見直し

公明党 瀬尾 保雄

〔質問〕交通料金助成制度の対象年齢を75歳以上にして、その財源で旧4町村地域の障がい者等への交通助成策を創設できないか。

〔答弁〕電車・バスの70歳以上半額助成は年間で約4億円、障がい者を含めた場合は約4億5000万円の助成を行っているが、旧4町村の場合は、1回の片道料金も非常に大きな金額となるため、高齢者の福祉バス等も含め制度設計についてトータルで慎重に検討したい。(市長)

グループホームの追加整備

新生クラブ 佐古 一夫

〔質問〕グループホームの整備は経済効果等があると思われるが、第4期介護保険事業計画におけるグループホーム整備数を追加することはできないのか。

〔答弁〕グループホームの整備には、施設建設や雇用などで経済効果が生じるものと考え、第4期介護保険事業計画は、計画策定推進委員会での協議等を経て、民生常任委員会が計画案を審議、了承した。ただ本年4月からスタートしたばかりで、現時点で計画を見直し、整備を追加することは難しいと考える。(市長)

脳脊髄液減少症の認識と周知

公明党 茂木 修

〔質問〕脳脊髄液減少症に対する認識と学校での対応や周知に対する考えを聞きたい。

〔答弁〕脳脊髄液減少症は、誰にでも起こり得るにもかかわらず、いまだ診断基準や治療方法が確立されず、周囲の理解が得られない等、患者や家族が大変な苦勞をしている現状にあると認識している。各学校に対しては、スポーツ外傷等の後遺症への適切な対応など周知を図るとともに、保護者の理解が深まるよう学校を通じ周知に努めていきたい。(教育長・保健所参事)

新幹線の現函館駅乗り入れ

新生クラブ 村井 正幸

〔質問〕北海道新幹線の札幌延伸の情勢が不透明ななか、現函館駅への乗り入れの可能性について伺いたい。

〔答弁〕現函館駅への新幹線乗り入れについては、青函同時開業とともにその実現を強く検討した時期もあったが、既に新駅及びルートが決定され、平成27年度末に開業する見通しがたっていること、また、関係自治体や各期成会において札幌延伸に向けた取り組みも進められていることから、現時点ではその可能性はないものと考えている。(市長)